

福井太一

福井太一事務所

北杜市武川町宮脇 2162-1
TEL&FAX 0551-26-3755笑顔あふれる
ふるさとに

山梨の夏服・かいくーる着用



プロフィール

1976年 武川村生まれ 武川村育ち
山梨県立韮崎高等学校卒業 横浜国立大学教育学部卒業
1995年 山梨県スポーツ少年団 リーダー会会長
1996年 中学生キャンプのリーダーとして活動(後にJL2000)
1998年 小淵沢町立小淵沢小学校で教職に就く
以降 上野原町立桐原小学校、長坂町立小泉小学校、
北杜市立泉小学校に勤務 武川柔道スポーツ少年団指導者～現在
2004年 武川村消防団所属～現在まで21年

2021年 山教組執行委員長、連合山梨副会長
2023年 山梨県公立学校教員を退職 山梨県議会議員に初当選
土木森林環境委員、指定管理施設・出資法人調査特別委員
やまなし子どもの貧困対策推進政策提言案作成委員、予算特別委員
山梨県立韮崎高等学校PTA副会長(～24)
2024年 総務委員、多様な学びの場の提供に関する政策提言案作成委員、予算特別委員
2025年 教育厚生副委員長、県内経済の活性化策に関する政策提言案作成委員
山梨県高等学校PTA連合会副会長、韮崎高等学校PTA会長、武川中学校PTA会長

ご挨拶

残暑の候、皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より県政へのご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年は戦後80年という節目の年。山梨県から初めて選ばれた高校生平和大使は、7月・8月に開催された甲府空襲展や大月空襲展で平和の大切さを伝える活動を行い、8月9日には長崎での平和祈念式典にも参加しました。未来を担う若者たちが戦争の記憶と平和への願いを胸に、国境を越えた対話に向けて準備を進める姿に、大きな希望と責任を感じています。

子ども・若者の育ちと挑戦を支えることは、地域と社会の持続可能性を築くうえでも重要です。誰もが夢を語り、その実現に挑戦できる「笑顔あふれるふるさと山梨」をめざして、私は県政に取り組んでいます。

「教育は山梨百年の大計」、教育は未来を拓く礎です。同時に、暮らしを支える福祉や、誰もが地域に役割と居場所を持てるまちづくりも不可欠であり、これらは相互に深く関わっています。

教育・福祉・共生社会は決して分断されたものではなく、支え合う循環を生み出す柱でもあります。

縦割りを超え、人と地域のつながりを大切にしながら、すべての県民が安心して生き働き、活躍できる社会の実現へ。「教育立県山梨」の深化とともに、働く人と地域の未来を支える県政をめざしてまいります。

皆さまの声を県政に届け、ともに未来を築く議会人として、日々誠実に取り組んでまいります。

立秋を過ぎ、朝夕に秋の気配を感じる今日このごろ、どうぞくれぐれもご自愛ください。

山梨県議会議員

福井太一

令和7年6月定例会

一般質問より(一部抜粋)

子どもへの緊急食料支援

Q

福井

・物価高騰の中、夏休み中の子どもたちの“食”が危機に
・給食のない期間における生活困窮世帯の子どもたちへの支援を早急に
・山教組やPTAの声も踏まえ、現場の実情をもとに提案

A

知事

・「食は子どもの命と希望の土台。誰一人取り残さない支援を」
・小中高の生活保護・困窮世帯に1か月分の食料を提供
・緊急支援だけでなく、持続的な支援体制の構築へ
・認定NPO法人フードバンク山梨と連携協定を締結(7月2日)

S

具体的な成果(実施内容)

・「子どもの貧困対策緊急食料支援事業費」として約1億円を計上(6月補正予算)
・PTA・教職員組合と協力し、多言語対応の申請チラシを県が作成・配布
・市町村や民間団体と連携し、制度化・継続化を進行中

■ 詳細は県ホームページでご覧いただけます▶

※申請は既に締め切られています。



スクールソーシャルワーカー活用強化

Q

福井

・貧困や虐待、ヤングケアラーなど複雑化する家庭課題への支援強化を提案
・子どもが安心して学び暮らせるため、人的体制の拡充と早期支援体制を求める

A

知事

・SSWは早期発見・解決の要
・現在配置の15人のSSWの専門性を強化する研修を実施
・段階的増員にとどまらず抜本的な拡充を進める
・将来の担い手育成プログラムを本年度から開始
・教職員向けに心理・福祉視点の研修を展開
・県自殺防止センターと連携した包括支援体制も構築

S

具体的な成果(実施内容)

・今年度から人材育成の新研修をスタート
・教職員研修で「気づき」と「専門支援」をスムーズに連携
・自殺リスク対応を含む多面的支援体制の強化
・誰一人取り残さない環境づくりを推進中

■ SSW活用リーフレットはこちらから▶



小淵沢の未来へ

Q

福井

・「馬のまち小淵沢」を未来につなげるために、県の具体的支援と役割を問う
・自然・文化・景観・観光が調和した持続可能な地域モデルの確立を提言

A

知事

・小淵沢の多様な魅力を活かす「馬のまちビジョン」を策定(3月)

・馬術競技場はJOC強化センター(全国唯一)として地域振興の中核
・企業版ふるさと納税を活用し、競技場の品格・価値を向上
・道の駅周辺では電線地中化で景観整備を実施予定
・北杜市と連携し、景観ルールの整備とデザインによる価値創出へ
・民間の挑戦を県が資金面・制度面で後押しする姿勢を明言

S

具体的な成果・進行中の取組み

・馬術競技場の整備が民間投資で実現
・デザインセンターの知見を活用した地域ブランディングを展開中
・電線地中化や景観ルールで、調和の取れた観光・居住空間を創出
・中長期での小淵沢モデルの確立へ向けた継続支援を県が明言

■ ビジョンの概略版はこちらから▶



地球温暖化に適應する水稻生産振興

Q

福井

・地球温暖化の影響に対し、県産米の安定生産策と新たな品種普及の推進を提案
・気候変動対応と地域経済活性化の両立を目指すべきと強調

A

農政部長

・「コシヒカリ」「農林48号」は肥料・収穫時期管理で高温対応を進める
・高温に強い新品種「にじのきらめき」は昨年度の2倍となる約70ヘクタールに拡大
・江崎新太郎氏の協力で観光客向け宿泊施設利用を促進
・「4パーミル・イニシアチブ」認証水田は933ヘクタール、今年は更に拡大へ
・首都圏での積極的なPRで付加価値向上を図る

S

具体的な成果(実施内容)

・肥料・収穫時期調整による既存品種の安定生産
・「にじのきらめき」の作付面積倍増、インバウンド対応強化
・環境配慮型農業の普及と都市部へのPR活動
・大規模農業法人への働きかけ強化で持続可能な拡大を目指す

■ にじきらの特集ページはこちらから▶



この他、以下の項目について質問しました。(二次元コードを読み込むと質問の録画配信をご覧いただけます。)

・「教育立県山梨」の深化に向けた教職員のウェルビーイング向上戦略について
・多文化共生社会の裾野拡大に向けた日本語習得環境の充実について
・ジェンダー平等に向けた意識改革の更なる推進について
・避難所における良好な生活環境の確保に向けた取り組みについて
・豊かさ共創スリーアップについて
・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた機運醸成について

■ 質問のやりとりはこちらから▶





やまなしブランドサミット
@甲府一高



花谷泰広さん
「山とともに生きる」講演会に



退任の降旗教育長と



東伊豆町のキッズキャンプ視察



穴山町さくら祭り



信玄公祭りで県議会をPR



武川小中学校の入学式で祝辞



農林大学校の入学式に



湖衣姫コレクション
グランプリ志村幸花さんと



北杜高校の入学式に



県立馬術競技場オープニング
セレモニーで“初老ジャパン”大岩選手と



笛川中2年生と(株)ササキへ



矢部裕貴講演会を共催



サントリー天然水工場視察



長沢鯉のぼり祭り



5月10日
韮崎高校吹奏楽部定期演奏会



5月10日
あおぞら共和国(白州町)での
コンサートへ



5月15日
武川中2年生が県議会を見学



5月17日
県民緑化祭り



5月20日
学校休業中の食料支援を要請



5月25日
むかわ米米朝市で“福餅”つき



5月31日
山梨ソナタクラブ10周年記念
企画へ参加



6月5日
文教科学委員会を傍聴
水岡俊一参議院議員と



6月9日
ベトナム視察



6月13日
ブルーゲートの皆さんと
武川小5年生の田植え



6月14日
ハケ岳SDGsコミュニティで
都留高生と対話



6月23日
教育厚生委員会で質問



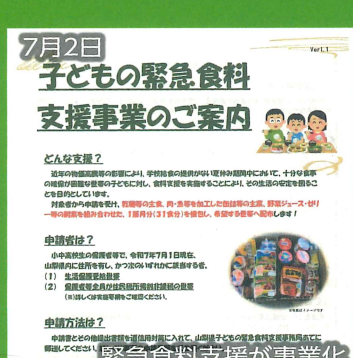
6月24日
夜間中学を学ぶ学習会に



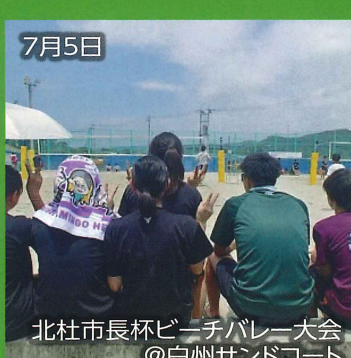
6月27日
関東スポーツ推進委員
研究大会山梨大会



6月29日
北杜市体育祭り総合開会式で
表彰された教え子と



7月2日
子どもの緊急食料
支援事業のご案内



7月5日
北杜市長杯ビーチバレー大会
@白州サンドコート



7月6日
戦後80年の甲府空襲展

日常的な活動は SNS で常時発信しています。
県政への率直なご意見お聞かせください!!



福井太一事務所 TEL&FAX 0551-26-3755 北杜市武川町宮脇 2162-1